

# 仮定法－1

## ☆『仮定法』の基本概念

「もし○○なら、△△なのに」という表現は、大きく三つに分けることができる。

- ①未来の実行可能なことについて「もし～なら、…したいな」という場合。
- ②未来の実行不可能なことについて「もし～なら、…するのにな」という場合。
- ③現在のことについて「もし～なら、…するのになあ」という場合。
- ④過去のことについて「もし～なら、…だったのになあ」という場合。

これらの文はみな“気持ち”を表現しているので、すべて「助動詞」が使われている。

①は実現する可能性があるので助動詞は「現在形＝実行形」を使うが、②や③は無理な状況がわかっているため助動詞は現在形ではなく「過去形＝妄想形」を使用する。

そして④も確定していることについて述べているのでやはり「妄想形」を使用し、さらに時間のズレを「完了形」を使って表現する。

## ☆『仮定法』の文法的な用語と分類

文法用語	想定する時間	If { 節 } の時制	主節の表現
『仮定法現在』	未 来	現在形	will ~ (原形)
『仮定法過去』	現在と未来	過去形	would ~ (原形)
『仮定法過去完了』	過 去	過去完了形	would have ~ (過去分詞)

※「仮定法」で使われる助動詞は、「will」だけでなく「can (could)」もよく使われる。

※「仮定法現在」というのは桐生進学教室のオリジナルの表現ですので学校では使えません。

1, 次の日本語に合うように、( ) 内の単語を参考にして下線部に英単語を書き入れなさい。

- ①もし明日時間があれば部屋の掃除をしたいな。 ( time , have , clean , will )

If I \_\_\_\_\_ , I \_\_\_\_\_ my room .

- ②もし明日時間があれば部屋の掃除をするのにな。 ( time , have , clean , will )

If I \_\_\_\_\_ , I \_\_\_\_\_ my room .

- ③もっと練習しておけば、この試合は勝てたのになあ。 ( practice , win , can )

If I \_\_\_\_\_ hard , we \_\_\_\_\_ this game .

- ④君がそばにいてくれれば僕は頑張れるのになあ。 ( do , stand , will )

If you \_\_\_\_\_ by me , I \_\_\_\_\_ my best .

- ⑤もし僕が強ければ、敵に挑んでゆくのになあ。 ( will , attack , try )

If I \_\_\_\_\_ strong , I \_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_ my enemy .